

## 子ども票

種別	No.	質問	選択肢の例	分析結果への反映（主なもの）
属性	問1	回答者の属性	小学生、中学生	
	問2	回答者の性別	男子、女子	
所有物	問3	自己の所有物	本、部屋、パソコン、スマホなど	困窮層では学習環境が整っていない割合が高い。 困窮層でもゲーム機やスマートフォンの保有率は高い。
将来の夢	問4	将来の夢の有無	満足してるため、思い浮かばない、夢は叶わないと思う等	困窮層では将来への希望が持てない傾向
	問5	将来の夢がない理由		
	問6	将来への希望	将来のために頑張りたいと思うか	
進学	問7	進学希望	中学、高校、短大、大学など	困窮層では大学以上の進学希望が一般層の半分以下
友だち	問8	仲の良い友達の種類	学校、近所、クラブ、習い事、ネット上など	
悩み事	問9	悩みごとの話し相手・頻度	家族、先生、学童、友達など／よく・時々・あまり	
	問10	トラブルの経験・頻度	学校に行きたくない、いじめなど／よく・時々・あまり	
放課後	問11	放課後を過ごす相手	家族、学童、地域の居場所、友だちなど	
	問12	放課後を過ごす場所	自宅、友達の家、塾、学童、部活動、図書館、居場所など	
	問13	ほっとできる居場所	問12の選択肢から	困窮層ではほっとできる居場所のない子どもの割合が高い
休日	問14	休日を過ごす相手	家族、学童、地域の居場所、友だちなど	
	問15	休日を過ごす場所	自宅、友達の家、塾、学童、部活動、図書館、居場所など	
家族	問16	親との過ごし方・頻度	食事、勉強、運動、会話など／毎日・週3・月1など	困窮層では家庭内での会話が少ない傾向がある。
活動	問17	余暇活動の種類・頻度	ゲーム、テレビ、ネット、外遊びなど／毎日2h以上など	
読書	問18	1ヶ月間の読書数		
生活リズム	問19	平日の起床時間	ほぼ同じ時刻に起きているか	
	問20	平日の就寝時間	ほぼ同じ時刻に寝ているか	
	問21	睡眠時間	6時間より短いか	
食事	問22	朝食の頻度	毎日食べているか	困窮層では食生活に課題が見られる子どもの割合が高い
	問23	朝食を食べない理由	時間がない、お腹が空いていない、用意されていない等	
	問24	夕食の頻度		
	問25	夕食を食べない理由	時間がない、お腹が空いていない、用意されていない等	
	問26	給食以外で摂取する食品	野菜、果物、肉・魚、カップ麺、コンビニ弁当、菓子等	
健康状態	問27	自分の健康状態	よい、まあよい、ふつう、あまりよくない、よくない	
	問28	直近1週間の気持ち・頻度	楽しい、泣きたい、元気など／いつも・時々・ない	
	問29	自分の体で気になること	頭痛、歯痛、視力、張力、風邪、痒みなど	
学校生活	問30	学校生活で好きなこと	授業科目、先生、友達、部活、休み時間、給食	
	問31	授業の理解度	いつもわかる、大体わかる、あまりわからない等	困窮層では授業が分からないと感じる割合が高い
	問32	授業がわからなくなった時期	1年生の頃・・・	
	問33	勉強を教えてくれる人	親、兄弟、先生、学童、塾、友だち等	
	問34	自分の成績	クラスで上の方、真ん中、下の方など	
	問35	勉強時間		
	問36	勉強に使ってる教材	学校のドリル、本屋の参考書、通信教育など	
問37	学習塾や家庭教師の利用・頻度			
自己肯定感	問38	自分の気持ち	頑張れば報われる、自分は価値のある人間、将来が楽しみ等	困窮層では子ども・保護者ともに自己肯定感が低い傾向にある。
支援	問39	使ってみたい支援	居場所、子ども食堂、無料の学習教室、相談場所、相談相手	

保護者票

種別	No.	質問	選択肢の例	分析結果への反映（主なもの）
属性	問1	回答者の属性	小学5年生の保護者、中学2年生の保護者	
	問2	回答者と子どもの関係	親、祖父母、親戚、施設職員、里親など	
	問3	回答者の年齢		
	問4	子どもの両親の国籍	日本、日本以外	両親のいずれかが外国籍である家庭は困窮状況にある割合が高い。
	問5	回答者の婚姻状況	婚姻中、離婚、死別、未婚・非婚	
	問6	同居家族の人数		
	問7	同居家族の種類	父母、祖父母、兄弟姉妹、親戚、その他	
	問8	介護が必要な同居家族の有無		
就業状況	問9	母親の就業状況	正社員、契約・派遣社員、パート・アルバイト、自営業、無職	
	問10	母親の就業時間		
	問11	母親の就業時間帯（日中以外）	早朝、夜間、深夜、土日祝日など	困窮層では平日日中以外の勤務がある保護者の割合が高い。
	問12	母親の年収		
	問13	父親の就業状況	正社員、契約・派遣社員、パート・アルバイト、自営業、無職	
	問14	父親の就業時間		
	問15	父親の就業時間帯（日中以外）	早朝、夜間、深夜、土日祝日など	困窮層では平日日中以外の勤務がある保護者の割合が高い。
その他収入	問16	父親の年収		
	問17	公的給付の支給額	児童手当、児童扶養手当、年金、生活保護など	
住まい	問18	公的給付の以外の収入額		
	問19	住居の形態	持ち家、賃貸、公営住宅、UR、社宅など	
	問20	部屋数・広さ		
経済状況	問21	家賃・住宅ローンの金額		
	問22	子どもに係る出費	学校内、学校外	
	問23	必要なものが買えなかった経験	食料、衣類	・回答者分類(一般層、中間層、困窮層)に反映※本調査では困窮層の生活・健康・経験・心情等を分析。 ・必要な食料が変えなかった経験があった割合は小学生全体の14.9%、中学生全体の17.6%
	問24	料金が払えなかった経験	電話代、光熱水費、家賃、住宅ローン、医療保険など	
	問25	所有していないもの	本、おもちゃ、勉強場所、洗濯機、炊飯器、掃除機、冷暖房、レンジなど	
	問26	現在の暮らしの状況	ゆとりがある、苦しい	
健康状態	問27	回答者の健康状態	よい、ふつう、よくない	困窮層では健康状態に問題を抱えている保護者の割合が高い。
	問28	子どもの健康状態	よい、ふつう、よくない	
	問29	回答者の気持ち・頻度	神経過敏、絶望的、気分が沈む、自分は価値がない等	
	問30	自分の体で気になること	頭痛、歯痛、視力、張力、風邪、痒みなど	
	問31	検診の受診有無		
	問32	検診未受診の理由	必要性を感じない、時間が無い、お金がない、医療機関がない等	
	問33	医療機関の受診有無		
	問34	未受診の理由	時間がない、お金がない、医療機関がない等	
	問35	子どもの医療機関の受診有無		
	問36	子どもが未受診の理由	保険未加入、自己負担金払えない、子どもが拒否、場所など	
食事	問37	朝食の頻度	毎日食べてる？	
子ども	問38	子どもが通った保育・教育機関	保育所、幼稚園、小学校など	
	問39	子どもの進学見通し	中学、高校、短大、大学など	
	問40	子どもとの将来の話		
	問41	子どもへの対応・頻度	小遣い、衣服購入、習い事、お祝い、旅行、お年玉、学校行事の参加	
	問42	子どもに与えた経験	海水浴、博物館等見学、キャンプ、スポーツ観戦、遊園地	
	問43	子どもとの過ごし方・頻度	食事、勉強、運動、会話など／毎日・週3・月1など	困窮層では家庭内での会話が少ない傾向がある。

## 保護者票

種別	No.	質問	選択肢の例	分析結果への反映（主なもの）
相談相手	問44	困りごとの相談相手の有無		困窮層では悩みを相談できる人がいない割合が高い。
	問45	日常的に挨拶・会話する相手の有無		
	問46	近隣の相談相手の有無		
学歴	問47	両親の最終学歴		
貧困連鎖	問48	保護者が15歳頃の家庭の様子	両親世帯、母子世帯、父子世帯、児童養護施設など	
	問49	保護者が15歳頃の家庭の暮らし向き	ゆとりがあった、苦しかった	困窮層では15歳頃の生活が苦しかった保護者の割合が高い。⇒貧困連鎖を断つため、早期の把握・支援が重要
	問50	10年前の保護者家庭の暮らし向き	ゆとりがあった、苦しかった	貧困が継続している場合、保護者自身が成人前につらい経験をしている経験が高い。
	問51	保護者が成人前に体験したこと	両親が離婚、親が生活保護、親が死亡、親の暴力、育児放棄など	困窮層では成人前に両親の離婚や親からの暴力を経験した割合が高い。
	問52	保護者が子どもをもってから経験したこと	配偶者からの暴力、子どもへの体罰、育児放棄、産後うつ等	
自己肯定感	問53	自分の気持ち	頑張れば報われる、自分は価値のある人間、今後が楽しみ等	困窮層では子ども・保護者ともに自己肯定感が低い傾向にある。
支援	問54	支援情報の入手方法	行政広報、行政HP、SNS、学校の便り、友人の情報など	
	問55	民間支援等の利用経験（未利用の理由含む）	一時預かり、子ども食堂、フードバンク等／希望なし、制度未知等	
	問56	公的支援等の利用経験（未利用の理由含む）	児童手当、生活保護等／希望なし、制度未知等	困窮層では就学援助費の利用経験が多い(30%)一方、制度を知らない保護者の割合も高い。
	問57	公的機関への相談経験	市役所、学校、SSW、民生委員、保健所、中核、自立相談など	生活困難度によらず情報の受取先や悩みの相談先の中心は学校となっている。 困窮層では学校に「相談したかったが抵抗感があった」と回答した割合が高い。
その他	問58	悩み事	自由記入	